

<http://niwatoriokan.blog97.fc2.com/blog-entry-1185.html>

東京都現代美術館 オランダ アート&言語展

2010年の年末、
用事の合間を縫って、東京都現代美術館へ！

「オランダのアート&デザイン 新・言語」。

これがすこぶるよかったので、レポートです！
ちょっと長いけど、よかったらみてください！

複数の作家さんが出品していて、どれも本当に
素晴らしいものでしたが、
おかんがハートをわしづかみにされた作品はこれ！

マルティン・エングルブレクトさん（1972年生まれ）の、
「ご近所ショッピング」！

もちろん、本来オランダ語のものですが、
そのコンセプトを伝えるため日本語訳されています！

昨今疎遠になってしまったご近所づきあい。
それを中核のモチーフとして、
人と人とのコミュニケーションについて疑問を
投げかける作品です。

「ご近所で遊ぶためのチョーク」。

ご近所同士で外のアスファルトで交流を深めるためのチョーク？

「隣人の砂糖」。

ご近所さんにお茶に招かれたときの砂糖？
ご近所さんがお砂糖きらしたときに貸す砂糖？

「ごあいさつクッキー」。

一つ一つのクッキーが、
こんな風にくっつく形になっています。
これでごあいさつの時もなごみますね。

上段：「ご近所同士のコミュニケーション」。
ブリキの缶でできた、糸電話的なもの？

下段：「涙を拭いてあげるためのハンカチ」。

...すこしづ一つ、関係が濃くなるのが笑うところ。

「不満はいえません」（陶器のプレート）。

あらあ、言いにくい事もこんな風
おしゃれなプレートで掲げておけば、角もたたないわ。

「ご近所じょうろ」。

異常に長いホース部分。
これさえあれば、お隣のお庭にお水をあげるのも楽チン！

「聞いて！」。

このグラスをご近所さんとの壁にあてて、耳をつければ。
隣の話し声を聞くことができます。

ああキワドイご近所関係。

「隣人モールスハンマー」。

何かあったときに、このハンマーでご近所さんの壁に
モールス信号を打てば。

きっと助けてくれるはず。

「隣人バット」。

ああああ最高の辛口ジョーク！

だからさ、このバットで何をするつもりなの！！！！

おもしろいのは、ここまで毒のあるぎりぎりのご近所関係を打ち出しているにも関わらず、本人が意図しているのはコミュニケーションの必要性なのです。

この「ご近所ショップ」のすぐそばには、
「小さな東京モニュメント」という参加型の作品があり。
展覧会の入り口で渡された、小さなレンガに、
好きなメッセージを書いてセメントで固定しながらつんでいくという作品がありました。

これね！

「Restart」というメッセージを書いていた人がいました。

おかーちゃんは、「Departure（出発）」で！

この展覧会は清澄白川の東京都現代美術館で、1月末までやっています。

ご覧になりたいかたは、お早めに！

【2011/01/12 00:00】 | 子育て マンガ | トラックバックバック(0) | コメント(0) |